

だい かいしょう どうじょう 第2回省エネ道場まとめ

せいさく みちか しぜん まな
クラフト制作から身近な自然を学ぼう！



1 ちきゅうおんだんか 地球温暖化ってなんだろう？

たいよう ねつ おんしつこうか きゅうしゅう ちきゅう せいぶつ す でき
太陽からの熱を【温室効果ガス】が吸収することで、地球は生物の住むことが出来
おんど たも ちか しげん ねんしょう か とちゅう はっせい
る温度が保たれています。地下資源を燃焼させてエネルギーに変える途中で発生す
にさんかたんそ かちくどうぶつ しいく はっせい おんしつこうか
る【二酸化炭素】や、家畜動物を飼育するなかで発生する【メタン】などの温室効果ガ
ふ ねつ ちきゅうじょう おんど あ
スが増えすぎてしまうと、熱が地球上にとどまってしまい、どんどん温度が上がって
しまします。このままだと更に、気候が極端化して災害の増加、極地の氷が解けて多
さ さら きこう きょくたんか さいがい そうか きょくち こおり と おお
くの陸地が無くなり、生態系も失われてしまします。

2 じゅもく ちきゅうおんだんか かんが 樹木から地球温暖化を考えてみよう！

ちきゅうおんだんか かいけつ しぜん まも こと じそくかのう
地球温暖化を解決するためにはただ自然を守るという事だけでなく、それが持続可能なも
ひつよう じゅもく にさんかたんそ と こ たんそ たくわ かせきねんりょう
のである必要があります。樹木は二酸化炭素を取り込み、炭素として蓄えます。化石燃料
せきゆしざい かんきょうふ か たか ざいりょう か しょくぶつしざい つか にさんかたんそ はい
や石油資材や、環境負荷の高い材料の代わりに植物資材を使うことで二酸化炭素の排
しゅつりょう おさ てきせつ りょう あら そだ かんきょうじゅんかん こうじょう ちいき
出量を抑え、適切にそれを利用し、また新たに育てることで環境循環の向上や、地域
けいざい しんこう じつげん きたいでき むかし ひとびと せいかつ なか じゅもく しょくぶつしざい
経済の振興も実現が期待出来ます。昔の人々の生活の中には樹木などの植物資材が
さまざま ばめん もち げんざい がいこくさん しざい お りょう
様々な場面で用いられていました。現在では外国産の資材に押され利用されなくなった
しんりん じだい とも まち いろど み おお しょくぶつたち かし みなお
森林や、時代と共に街の彩りとしてだけに見られていた多くの植物達の価値が見直され、
いろいろ かたち りょう はじ
色々な形で利用が始まっています。

3 き み とお し きたく しぜん 木の実を通して知る北区の自然

きたく こうだい のうち しせき う た ち せっち りょくち ゆう じちたい じゅんい ゆする
北区は広大な農地や大きな史跡、埋め立て地に設置された緑地を有する自治体に順位は譲る
もの、都内10位の緑被率を誇り、区内は多様な地形に富み、他区にはない様々な樹種が揃う
こうえん かすおおく じゅしゅ おお こうえん いきもの かす おお
公園が数多くあります。樹種の多い公園では、やってくる生き物の数も多く、その生き物たち
よって更に多くの植物が持ち込まれます。この様に多くの動植物が存在する事を「多様性」
さいぶつたようせい たかさ かんきょう はか じゅうよう しひょう よう たようせい たか かんきょう
といい、生物多様性の高さは環境を測る重要な指標になります。この様な多様性の高い環境
まも とし おんだんか けいげん いみ じゅうよう
を守っていくことは都市の温暖化を軽減する意味でも重要です。